

日 曹 **フェニックス**[®] 顆粒水和剤

PHOENIX

登録番号 第21917号
種類名 フルベンジアミド水和剤
flubendiamide
殺虫剤分類 28
性状 褐色水和性細粒
有効年限 5年

有効成分 フルベンジアミド 20.0%

毒性 普通物(毒劇物に該当しないものを指している通称)

包装 (100g×10本)×6箱、(250g×20袋)×2箱、500g×20袋

■特 長

1. チョウ目害虫に優れた効果を発揮します。
2. 速やかに食害抑制効果を発現し、優れた効果持続性を発揮します。
3. 天敵・有用昆虫に対する影響の少ない薬剤です(蚕を除く)。



最新の登録内容、
SDSはこちら

■適用害虫名及び使用方法

(2024年10月16日現在)

作物名	適用害虫名	希釈倍数 (倍)	使用液量 (ℓ/10a)	使用時期	本剤の 使用回数	フルベンジアミド を含む農薬の 総使用回数	使用方法
キウイフルーツ	ハマキムシ類	4,000	200～ 700	収穫7日 前まで	3回以内	3回以内	散 布
かんきつ	ミカンハモグリガ ハマキムシ類 ケムシ類 アゲハ類			2回以内			
	小粒核果類 (うめ、すももを除く)			ケムシ類	3回以内 〔樹幹散布は1回 以内、散布は 2回以内〕		
うめ	シンクイムシ類 ケムシ類						
すもも							
もも	ハマキムシ類 モモハモグリガ シンクイムシ類 ケムシ類			2回以内	収穫前日 まで	2回以内	
ネクタリン							
おうとう	ハマキムシ類						
なし	シンクイムシ類 ケムシ類	4,000～ 6,000			2回以内		
りんご	ギンモンハモグリガ キンモンホソガ ヨモギエダシャク シンクイムシ類 ケムシ類						
		ハマキムシ類					
ぶどう	ハスモンヨトウ ハマキムシ類 ケムシ類	4,000		収穫14日 前まで	3回以内 〔樹幹散布は1回 以内、散布は 2回以内〕		
かき	カキノヘタムシガ イラガ類			収穫7日 前まで			

殺 虫 剤 日曹フェニックス顆粒水和剤

作物名	適用害虫名	希釈倍数 (倍)	使用液量 (ℓ/10a)	使用時期	本剤の 使用回数	フルベンジアミド を含む農薬の 総使用回数	使用方法	
非結球あぶらな 科葉菜類(チンゲ ンサイを除く)	コナガ	2,000～ 4,000	100～ 300	収穫前日 まで	2回以内	2回以内	散 布	
チンゲンサイ	ハスモンヨトウ							
とうもろこし ヤングコーン	アワノメイガ オオタバコガ ツマジロクサヨトウ	32	3.2				無 人 航 空 機 に よ る 散 布	
飼料用とうもろこし (子 実)	ツマジロクサヨトウ	2,000～ 4,000	100～ 300					散 布
	アワノメイガ オオタバコガ	32	3.2					
そ ば	ハスモンヨトウ	2,000～ 6,000	100～ 300				収穫7日 前まで	散 布
は く さ い	オオタバコガ	16	1.6	無 人 航 空 機 に よ る 散 布				
	アオムシ	20	2					
	コナガ	32	3.2					
	ヨトウムシ ハスモンヨトウ	2,000～ 4,000	100～ 300		散 布			
ヨトウムシ オオタバコガ アオムシ コナガ ハイマダラノメイガ ハスモンヨトウ ウワバ類								
キ ャ ベ ツ	ヨトウムシ オオタバコガ アオムシ コナガ ハスモンヨトウ ウワバ類	16	1.6		無 人 航 空 機 に よ る 散 布			
	ヨトウムシ オオタバコガ アオムシ コナガ ハスモンヨトウ ウワバ類	20	2					
	ヨトウムシ オオタバコガ アオムシ コナガ ハスモンヨトウ ウワバ類	32	3.2					
メ キ ャ ベ ツ	アオムシ コナガ ウワバ類	2,000	100～ 300	3回以内				
カリフラワー	ハイマダラノメイガ ヨトウムシ コナガ	2,000～ 4,000		2回以内	散 布			
ブロッコリー	ハイマダラノメイガ ヨトウムシ コナガ ハスモンヨトウ			16 20 32		1.6 2 3.2	2回以内	無 人 航 空 機 に よ る 散 布
	ヨトウムシ コナガ ハスモンヨトウ							
	ヨトウムシ コナガ ハスモンヨトウ							

作物名	適用害虫名	希釈倍数(倍)	使用液量(l/10a)	使用時期	本剤の使用回数	フルベンジアミドを含む農薬の総使用回数	使用方法		
レタス	ヨトウムシ ハスモンヨトウ オオタバコガ ウワバ類	16	1.6	収穫前日まで	2回以内	3回以内 (灌注は1回以内、 散布及び 無人航空機散布は 合計2回以内)	無人航空機 による散布		
		20	2						
		32	3.2						
非結球レタス		2,000～ 4,000	100～ 300				2回以内	2回以内	無人航空機 による散布
		16	1.6						
		20	2						
ねぎ	シロイチモジヨトウ ネギコガ	16	1.6	収穫7日 前まで	3回以内	3回以内	無人航空機 による散布		
		20	2						
		32	3.2						
かぶ	コナガ ハイマダラノメイガ	2,000～ 4,000	100～ 300	収穫前日 まで	2回以内	2回以内	散 布		
だいこん				収穫7日 前まで	1回	1回			
はつかだいこん									
わさびだいこん				2,000					
にんじん	ヨトウムシ	2,000～ 4,000	100～ 300	収穫前日 まで	2回以内	2回以内	散 布		
かぼちゃ	ハスモンヨトウ								
ごぼ									
さいも									
オクラ	ウリノメイガ オオタバコガ								
セルリー									
すいか	ウリノメイガ								
メロン	オオタバコガ								
にがうり	ハスモンヨトウ	4,000	100～ 300	収穫前日 まで	3回以内	3回以内	散 布		
きゅうり	ウリノメイガ								
なす	アズキノメイガ								
トマト	ハスモンヨトウ	2,000～ 4,000	100～ 300	収穫前日 まで	3回以内	3回以内	散 布		
	ミニトマト	オオタバコガ							
いちご	オオタバコガ	2,000～ 4,000	100～ 300	収穫前日 まで	3回以内	3回以内	散 布		
ピーマン	オオタバコガ								
とうがらし類	オオタバコガ	2,000～ 4,000	100～ 300	収穫前日 まで	3回以内	3回以内	散 布		
かんしょ	ヒルガオハモグリガ	6,000							
	ハスモンヨトウ	2,000～ 6,000							
	ナカジロシタバ	16～32	0.8～ 1.6						
ばれいしょ	ジャガイモガ ハスモンヨトウ	2,000～ 4,000	100～ 300	収穫前日 まで	2回以内	2回以内	散 布		

殺 虫 剤 日曹フェニックス顆粒水和剤

作物名	適用害虫名	希釈倍数(倍)	使用液量(l/10a)	使用時期	本剤の使用回数	フルベンジアミドを含む農薬の総使用回数	使用方法
やまのいも	ナガイモコガ ハスモンヨトウ	2,000～4,000	100～300	収穫前日まで	2回以内	2回以内	散布
		32	3.2				無人航空機による散布
やまのいも(むかご)		2,000～4,000	100～300	収穫14日前まで	3回以内	3回以内	散布
はすいも(葉柄)	ハスモンヨトウ	2,000		収穫前日まで			
みしまさいこ	ハスモンヨトウ	2,000	100～300	収穫前日まで	3回以内	3回以内	散布
おうぎ	ヨトウムシ				6回以内(1年間に3回以内)	6回以内(1年間に3回以内)	
しよくようほおずき 食用ミニバラ 食用金魚草 しそ	ハスモンヨトウ	4,000	100～300	収穫7日前まで	2回以内	2回以内	散布
しそ(花穂) バジル		2,000		収穫3日前まで			
きく(葉)	ハスモンヨトウ	4,000		収穫14日前まで			
しょうが	アワノメイガ ハスモンヨトウ	2,000～4,000	3.2	収穫前日まで	3回以内	3回以内	無人航空機による散布
		32					
みょうが(花穂) みょうが(莖葉)	ハスモンヨトウ	2,000		※			
アスパラガス	オオタバコガ ヨトウムシ	2,000～4,000					
豆類(未成熟) (ただし、えだまめ、 さやいんげん、さや えんどうを除く)	ハスモンヨトウ	2,000	100～300	収穫前日まで	2回以内	2回以内	散布
さやいんげん		2,000～4,000					
	アズキノメイガ	4,000					
さやえんどう	ハスモンヨトウ シロイチモジヨトウ	2,000～4,000					
えだまめ だ い ず	ハスモンヨトウ マメシンクイガ	2,000			3回以内	3回以内	
あ ず き	ヨトウムシ アズキノメイガ	2,000～6,000		収穫7日前まで			
て ん さ い	シロオビノメイガ ヨトウムシ	5,000～6,000	1.6 2 3.2	収穫前日まで	2回以内	2回以内	無人航空機による散布
		40					
		50					
		80					

※みょうが(花穂)の収穫前日まで 但し、花穂を収穫しない場合にあつては開花期終了まで

作物名	適用害虫名	希釈倍数 (倍)	使用液量 (ℓ/10a)	使用時期	本剤の 使用回数	フルベンジアミド を含む農薬の 総使用回数	使用方法
茶	ヨモギエダシヤク チャノコカクモンハマキ チャハマキ チャノホソガ ハスモンヨトウ	2,000	200～ 400	摘採7日 前まで	1回	1回	散 布
花き類・ 観葉植物 (きく、りんどう を除く)	オオタバコガ ハスモンヨトウ		100～ 300	発生初期	4回以内	4回以内	
りんどう	リンドウホソハマキ						
きく	オオタバコガ ハスモンヨトウ	2,000～ 4,000					

△ 効果・薬害などの注意

1. 散布液量は対象作物の生育段階、栽培形態および散布方法に合わせて調節してください。
2. 植物体への浸透移行性による効果は弱いので、かけ残しのないように葉の表裏に十分散布してください。
3. ぶどうの幼果期から果粒肥大期に使用する場合は、果粉の溶脱が生じるおそれがあるので注意してください。
4. 西洋なしの品種ル レクチエでは落花後から袋かけ前までの散布についてはリング状の葉斑が生じるおそれがあるので使用をさけてください。
5. みずかけな（水掛菜）、カラー、花はすに使用する場合は、ほ場内に水がない状態で使用してください。また、使用后14日間は入水しないでください。
6. 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。
7. 無人航空機による散布に使用する場合は、次の注意事項を守ってください。
 - (1) 散布は散布機種 of 散布基準に従って実施してください。
 - (2) 散布に当たっては散布機種に適合した散布装置を使用してください。
 - (3) 散布中、薬液の漏れのないように機体の散布配管その他散布装置の十分な点検を行ってください。
 - (4) 散布薬液の飛散によって自動車やカラートタンの塗装等に被害を生じるおそれがあるので、散布区域内の諸物件に十分留意してください。
 - (5) 散布終了後は次の項目を守ってください。
 - (a) 使用後の空の容器は放置せず、適切に処理してください。
 - (b) 機体の散布装置は十分洗浄し、薬液タンクの洗浄廃液は安全な場所に処理してください。
8. 使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法等を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病虫害防除所等関係機関の指導を受けるようにしてください。
9. 適用作物群に属する作物又はその新品種に初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病虫害防除所等関係機関の指導を受けるようにしてください。

△ 安全使用上の注意

10. 眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。使用後は、洗眼してください。

水産動植物への影響：水産動植物（甲殻類）に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう十分注意して使用してください。無人航空機による散布で使用する場合は、飛散しないよう特に注意してください。使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

保管：密栓し、直射日光をさげ、食品と区別して、小児の手の届かない冷涼な所に保管してください。

○使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。空容器は圃場などに放置せず、3回以上水洗し、適切に処理してください。洗浄水はタンクに入れてください。

【農薬をご使用の際は】

- 使用前にはラベルをよく読んでください。
- ラベルの記載以外には、使用しないでください。
- 小児の手の届く所には、置かないでください。
- 空容器・空袋は圃場などに放置せず、適切に処理してください。